

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山
愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

くいな 鳴く



「水鶏鳴と 人の云へはや 佐屋泊」

愛西市佐屋町を代表する名所“水鶏塚”は、江戸時代に佐屋宿を訪れた俳人・松尾芭蕉が、晩年に当地で詠んだ俳句を記念して立てた碑で、佐屋町の佐屋八幡社西に隣接する敷地に立っています。

ここで、クイナ(水鶏)について調べてみると、へえ〜と驚きの連続でした。

先ず、松尾芭蕉が佐屋で詠んだクイナとは、現在は、ヒクイナ(緋水鶏)という鳥を指すそうです。クイナもヒクイナもツル目クイナ科の鳥ですが、昔は区別されていなかった別の鳥です。インターネットの普及により最近ではクイナやヒクイナの目撃情報や動画、鳴き声も調べることが出来ます。その鳴き声を聞くと、その声はこれまでカエルの鳴声を間違えて聞いていたのではないかとも思います。最近の愛知県下でも目撃情報がありますし、葦原や蓮田が広がる愛西市にも居るだろうと言われています。

また、クイナというと、沖縄に住むヤンバルクイナ(山原水鶏)の印象があり、飛ばない鳥かと思っていましたが、クイナもヒクイナも渡りをする鳥です。ただ、クイナは冬鳥で、朝鮮半島、日本(本州中部以北)、シベリア東部などで繁殖し、冬季になるとインド東部、中華人民共和国南東部、日本(本州中部以南)などへ南下して越冬するのに対し、ヒクイナは夏鳥で、中華人民共和国東部、台湾、日本などで繁殖し、冬季になるとインドシナ半島、中華人民共和国南部、日本(本州中部以南)へ南下し越冬するそうです。つまり、愛西市など中部地方では冬鳥のクイナと夏鳥のヒクイナの両方が同時に観察できるそうです。

ヒクイナは、鳩程の大きさ(約23cm)で、写真で見る限り美しい鳥とはいえませんが、後肢は赤橙色でツルのように長く、上面の羽衣は褐色や暗緑褐色で、顔から腹が赤っぽい姿をしています。

普段は葦原や蓮田などの茂みに居るようで、非常に臆病な鳥のため、ほとんど人前に出てこないそうです。生態は動物食傾向の強い雑食で、昆虫・軟体動物・カエル、種子などを食べ、水辺の茂みや低木の樹上にヨシなどを組み合わせた皿状の巣を作り、日本では5~8月に繁殖します。

< 2頁に続く >

くいな 鳴く

<表紙から>クイナは、夕暮れからキョツ、キョツと区切って、次第に早口になって鳴き続けます。この音が、扉を叩くように聞こえるため、昔から古典文学で使われているようで、インターネットのウィキペディアには、

くひなのうちたたきたるは、誰が門さしてとあはれにおぼゆ。 『源氏物語・明石』紫式部
五月、菖蒲ふく頃、早苗とる頃、水鶏の叩くなど、心ぼそからぬかは。 『徒然草』吉田兼好
此宿は 水鶏も知らぬ 扉かな 『笈日記』松尾芭蕉

など、俳句では夏の季語とされています。6月は水鶏が鳴き、蛍が飛ぶ季節です。今年はヒクイナを探してみませんか。

また、6月は、花菖蒲（ハナショウブ）など水辺の花が綺麗な季節でもあります。花菖蒲はアヤメ科アヤメ属の植物ですが、アヤメの多くが山野の草地に自生するのに対し、花菖蒲や杜若（カキツバタ）は湿地に生えます。ちなみに、杜若は愛知県の県花です。そして、愛西市は花菖蒲の産地でもあります。



上写真：愛西市内の花菖蒲産地（5月13日撮影）

下写真：水芭蕉（下呂市）とカキツバタ（知立市）

また、最近ブライダルブーケとして人気があるカラー（calla）も愛西市の特産物です。カラーは、サトイモ科オランダカイウ属の植物で、和名を海芋（かいう）と言い、南アフリカが原産地です。仏炎苞や葉が美しく観葉植物として栽培されています。サトイモ科の植物は、サトイモ（里芋＝タロイモ）をはじめ食用が多く、特に東南アジアから太平洋にかけて、芋を主食とする芋食文化が広がり、日本はその最北端に当たります。コンニャクも加工して食品とされます。また、形の面白いものも多く、観葉植物として利用されています。日本では水芭蕉（ミズバショウ）や座禅草（ザゼンソウ）などが有名で、「夏の思い出」などの歌にも出てきます。なお、路地の花菖蒲は例年なら6月初旬が盛りですが、愛西市内の花菖蒲やカラー産地（早尾町など）は出荷が終わって見学できない場所もあります。

信 長 生 誕 祭

5月15日（日）、愛西市の勝幡駅前広場や勝幡小学校体育館でNPO法人「信長生誕を育む会」が主催して、戦国武将・織田信長の生誕を祝う「信長生誕祭」が開催されました。午後（第2部として）開会式後、伊六万歳公演、佐織中学校吹奏楽演奏、服部徹氏講演会などが開催され、たくさんの方が集まりました。

JIMOキャラ総選挙 5月13日（金）～6月30日（木） 開催中

♡♡♡ みなさんの 1票を あいさいさんに ♡♡♡

山車祭 今秋 ユネスコ登録へ

今年の11月頃に、文化庁がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）に申請している全国33カ所の「山・鉦・屋台行事」が世界無形文化遺産として審査されます。

春の行楽期の4月2日（土）・3日（日）桜が満開となった愛知県犬山市では「犬山祭」が開催され、犬山の街全体が会場となって、たくさんの観光客を集め、3日の昼頃には犬山城下の針綱神社前広場に13台の車山（やま）が勢揃いし、順次、見事なカラクリ奉納をしていました。

五月晴れに恵まれたゴールデンウィーク後半の、5月2日（月）・3日（火・祝）には、愛知県知立市にある知立神社の祭礼でもある「知立まつり」が開催され、3日は、町内を引き回された後、夕方、知立神社拝殿前の広場に5台の山車（だし）が勢揃いして、文楽やカラクリが奉納されていました。

一方、5月3日（火・祝）・4日（水・祝）には、愛知県半田市亀崎町で、「亀崎潮干祭」が開催され、4日の昼頃には、海浜挽下ろしが実施されて5台の巨大な山車（やまぐるま）が海岸線に並びました。海浜挽下ろしは、海の満干潮によって毎回時間が変更されているそうです。そして、夕方には神前神社前広場でカラクリ奉納もありました。

愛知県では、これら3つの祭と津島・愛西市の尾張津島天王祭と蟹江町の須成祭の5つの祭礼が、ユネスコの世界無形文化遺産候補となっているわけですが、初めて一同に見た私にとっては、それぞれの山車の呼び方が異なることも新発見でした。

そして、いよいよ、愛知県津島市にある津島神社の、最も知られ最も重要な祭礼である**尾張津島天王祭が、7月24日（日）**に開催

される予定です。尾張津島天王祭では、愛西市東保町の皆さんが奉仕している車楽（だんじり）船の市江車（いちえぐるま）が登場します。車と言いながら実体は船である点もこの祭の特徴です。

前述三つの祭礼を一同に見学してみると、観光客受け入れ状況にも歴史的・知名度的な差を感じました。尾張津島天王祭でも観光客の増加が期待されます。愛西市も津島市と協力して観光客のみなさんに、より楽しんでいただけるようになると良いですね。



～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

- 5月26日(木) 愛西市観光協会、VG会 各総会(於:愛西市文化会館)
5月28日(土) 午後2時～ 鈴木家住宅(須依町)公開
6月25日(土) 日本陸上競技選手権大会(於:パロマみずほレクリエーション広場)
7月9日(土)・10日(日) 蓮見の会(於:道の駅立田ふれあいの里)
7月23日(土)・24日(日) 尾張津島天王祭(於:津島神社)
7月31日(日) 愛知県主催 愛西市鵜戸川釣り大会(於:愛西市石田町周辺の鵜戸川)
8月7日(日) 他、漁業体験(夏休み期間中に3回予定)(於:三和町付近の木曾川河川敷)

V G 6月定例会の予定

集合時間:6月19日(日)9時～

集合場所:愛西市文化会館

内 容:夏の催事について

あいさいボランティアガイドの会 5月定例会 議事録

- I. 会議(5月15日(日)9時～ 於:佐織公民館 22人出席)
- 1) 5月末～8月に開催される催事について協力体制を確認しました。
蓮見の会、漁業体験については、6月定例会で再度協力体制を確定します。
 - 2) 研修バス旅行について
6月29日(水)新城市長篠周辺への研修を予定します。
 - 3) その他の事務連絡
 - ①あいさいボランティアガイドの会総会(5月26日)について
 - ②木曾三川下流地区広域観光連携協議会交流会、9月30日(金)で予定
 - ③ボランティアガイドのユニフォームについて
 - ④佐屋宿周辺のガイド結果報告(観光客への配布資料の必要性について)
 - ⑤8月月例会(8月21日)は漁業体験と重なるため中止とします。
- II. 信長生誕祭(11時～16時 於:勝幡駅前広場・勝幡小学校体育館)見学

蓮見の会 開催

今年も下記予定で「蓮見の会」が開催されます。今年は、駐車場混雑を避けるため、名鉄佐屋駅と会場近くにある立田南部コミュニティセンターとを結ぶ無料シャトルバスが運行されます。是非ご利用下さい。

催事:7月9日(土)8:00～ オープニングセレモニー

7月9日(土)・10日(日) 8:00～13:00

- ・野点(8:00～11:00)
- ・特産物の即売・俳句投句・蓮の写真展作品募集
- ・佐屋高校による「ハスの回廊」設営
- ・名前に「蓮」が入る人いらっしやい(記念品贈呈)

場所:森川花はず田(愛西市森川町)

主催:愛西市観光協会(0567)55-9993